

# 2009年8月期第1四半期業績 及び業績見通し

**吉高 信**

---

株式会社ファーストリテイリング  
執行役員 CFO

1

執行役員CFOの吉高です。

2009年8月期第1四半期業績、及び  
通期の業績見通しについてご説明をします。

I. 第1四半期決算概要	P3	~	P16
II. 2009年8月期業績予想	P17	~	P22
III. ご参考資料	P23	~	P25

**【資料文中のグループ事業の表示について】**

- ※ 各グループ事業の構成は、以下のとおりです。
- 国内ユニクロ事業：株式会社ユニクロの数値が表示されています。
  - 海外ユニクロ事業：中国、香港、韓国、英国、米国、フランスにおけるユニクロ事業が含まれています。
  - 国内関連事業：国内を中心に展開しているアパレル小売事業(ユニクロ事業除く)のことです。  
キャビン、GOVリテイリングが含まれています。
  - グローバルブランド事業：グローバルに展開中、もしくは展開する可能性のあるブランド事業(ユニクロ事業除く)のことです。  
FRフランス(コントワー・デ・コトニエ事業、プリンセス タム・タム事業など)、持分法適用関連会社であるリンク・セオリー・ホールディングスが含まれています。

## 【連結】2009年8月期 第1四半期実績

**売上高** : 1,885億円 (前年同期比 +17.5%)  
**営業利益** : 409億円 (前年同期比 +45.6%)  
**経常利益** : 370億円 (前年同期比 +31.0%)

	2008年8月期 第1四半期実績	2009年8月期 第1四半期	
		実績	前年同期比
売上高 (売上比)	1,604 100.0%	<b>1,885</b> 100.0%	+17.5%
売上総利益 (売上比)	809 50.4%	<b>961</b> 51.0%	+18.8% +0.6p
販管費 (売上比)	527 32.9%	<b>551</b> 29.3%	+4.5% ▲3.6p
営業利益 (売上比)	281 17.5%	<b>409</b> 21.7%	+45.6% +4.2p
経常利益 (売上比)	283 17.6%	<b>370</b> 19.7%	+31.0% +2.1p
特別損益 (売上比)	▲8	▲1	-
純利益 (売上比)	154 9.6%	<b>221</b> 11.8%	+43.6% +2.2p

単位：億円

2009年8月期第1四半期実績： のれん償却額 11億円

2008年8月期第1四半期実績 のれん償却額 11億円

3

まず、2009年8月期 第1四半期連結業績についてご説明します。

売上高は1,885億円、前年同期比17.5%増、  
 営業利益は409億円、前年同期比45.6%増、  
 経常利益は370億円、前年同期比31.0%増、  
 増収増益を達成致しました。

## 【連結】第1四半期 増収増益の要因

売上高 1,885億円 (前年同期比 +17.5%)

- 国内ユニクロ事業 +281億円    ○ 海外ユニクロ事業 +20億円
- 国内関連事業 +20億円

売上高総利益率 51.0% (前年同期比 +0.6p)

- 国内ユニクロ事業での改善 +1.5p

売上高販管費率 29.3% (前年同期比 ▲3.6p)

- 国内ユニクロ事業での改善 ▲3.4p

営業利益率 21.7% (前年同期比 +4.2p)

経常利益率 19.7% (前年同期比 +2.1p)

- 円高の進展による為替差損の発生 40億円

4

まず売上高ですが、1,885億円、前年同期比280億円増、17.5%増収でした。

主な増収の要因は、国内ユニクロ事業が281億円の増収になったこと、海外ユニクロ事業で20億円の増収、ならびに今期からビュー事業を新たに連結したことによる国内関連事業での増収20億円によります。

売上高総利益率は、前年同期比0.6ポイント改善いたしました。これは、国内ユニクロ事業において、粗利益率が1.5ポイント上昇したことが主な要因です。

販管費は、前年同期比で23億円増えておりますが、販管費比率は3.6ポイント改善しております。これは、売上が好調であった国内ユニクロ事業において販管費比率が3.4ポイント改善したことが主な要因です。

これらの結果、営業利益は409億円、前年同期比45.6%の増益となり、売上高営業利益率は21.7%と前年同期比で4.2ポイント改善いたしました。

第1四半期において急速な円高の進展により、持株会社であるファーストリテイリングから海外子会社への貸付金、株式会社ユニクロから海外ユニクロ子会社への外貨建ての立て替え金に為替差損が発生していることなどにより、営業外費用として為替差損40億円を計上しております。

この結果、経常利益は370億円、前年同期比31.0%の増益となり、売上高経常利益率は19.7%と、前年同期比で2.1ポイント改善いたしました。

## 第1四半期 グループ事業別実績

単位：億円

		2008年8月期	2009年8月期	2009年8月期
		第1四半期実績	実績	第1四半期 前年同期比
国内ユニクロ事業	売上高	1,292	1,573	+21.8%
	営業損益	260	393	+51.2%
	(売上比)	20.2%	25.0%	+4.8p
海外ユニクロ事業	売上高	70	90	+27.6%
	営業損益	2	7	+232.1%
	(売上比)	3.0%	7.9%	+4.9p
国内関連事業	売上高	116	136	+16.9%
	営業損益	▲2	2	-
	(売上比)	-	2.2%	
グローバルブランド事業	売上高	122	79	▲35.5%
	営業損益	24	10	▲59.4%
	(売上比)	20.3%	12.8%	▲7.5p

※適用為替レート

2009年8月期第1四半期 1USD=99.20円 1EUR=132.68円 1GBP=164.77円

2008年8月期第1四半期 1USD=113.45円 1EUR=163.33円 1GBP=233.04円

こちらの頁では、各グループ事業別の売上高、営業損益を示しております。詳しくは次の頁以降でご説明いたします。

### 好調な売上を背景に大幅増益を達成

売上高 : 1,573億円 (前年同期比 +21.8%)  
 売上総利益 : 779億円 (前年同期比 +25.5%)  
 営業利益 : 393億円 (前年同期比 +51.2%)

単位: 億円

	2008年8月期	2009年8月期	第1四半期
	第1四半期実績	実績	前年同期比
売上高 (売上比)	1,292 100.0%	1,573 100.0%	+21.8%
売上総利益 (売上比)	621 48.1%	779 49.6%	+25.5% +1.5p
販管費 (売上比)	360 27.9%	385 24.5%	+7.0% ▲3.4p
営業利益 (売上比)	260 20.2%	393 25.0%	+51.2% +4.8p

6

まず、国内ユニクロ事業についてですが、売上高は1,573億円、前年同期比21.8%増、営業利益は393億円、前年同期比51.2%増と、大幅な増収増益を達成致しました。

秋物販売が順調に推移したこと、およびヒートテックを始めとした冬物販売が好調だったことから、売上高は期初計画を約200億円上回りました。

また、売上好調に加え、秋冬シーズンの早めの立ち上げに成功したことから、売上高総利益率は前年同期比1.5ポイント改善し、営業利益は期初計画比で約100億円上回る結果となりました。

項目ごとの説明につきましては、次の頁でさせていただきます。

**1Q 売上高 1,573億円 (前年同期比 +21.8%)**

- 既存店売上高 前年比 +17.7%**  
 客数 前年比 +10.8% ⇒ ユニクロ商品への評価向上、積極的な販促活動による集客効果  
 客単価 前年比 + 6.2% ⇒ (9月・10月)夏・秋物処分に伴う値引の減少(11月)ヒートテックなどが買上点数を牽引  
 アウターの販売好調
- ユニクロ直営店 前年同期末比 8店舗増 (2008年11月末 747店舗※)**

前年比増減率		2009年8月期				
		9月	10月	11月	9-11月計	12月
既存店計	売上高	+20.8%	▲2.5%	+32.2%	+17.7%	+10.3%
	客数	+10.4%	▲5.8%	+25.7%	+10.8%	+9.8%
	客単価	+9.5%	+3.5%	+5.2%	+6.2%	+0.4%

※ FC店 20店舗を除く

7

まず売上高21.8%増の要因ですが、主に既存店売上高が17.7%増となったことによります。なおその内訳としては、客数が10.8%増、客単価が6.2%増となっております。

客数が二桁増となった背景としては、ユニクロ商品への評価が向上し、積極的な販促活動ともあいまって、集客につながりました。

客単価が伸びた背景としては、9月、10月は夏物・秋物処分に伴う値引が減少したこと、11月はヒートテックなどが好調に販売できたことにより、買上点数が伸び、またアウターも好調に販売できたことが挙げられます。

なお、12月の既存店売上高も既に発表済ではございますが、10.3%増と好調でした。

- ユニクロの商品に対するお客様の評価が向上
  - ・商品の完成度アップに対する評価
  - ・ヒートテックなど高品質・高機能素材による認知度が高まった
- コア商品（ベーシック商品）の強化
  - ・コア商品（メリノリブセーター、フリース、ヒートテック、ダウンジャケットなど）の店頭在庫を増やし、分かりやすい、買いやすい売場を実現
  - ・売れ行きに応じた増産によりコア商品の在庫を維持
- キャンペーンによる集客効果  
スリムボトムス、メリノ、フリース、ヒートテック、プレミアムダウンと、期間をあけることなく、次々とキャンペーンを実施

増収の要因といたしましては、ユニクロ商品の完成度が年々向上しており、お客様の評価が向上していることが寄与しているのではないかと考えております。また、ユニクロの高品質の素材、例えば、ヒートテックなど、高品質・高機能素材を使用していることへの認知が高まったことも増収につながっているのではないかと考えております。

二つ目は、コア商品、いわゆるベーシック商品の強化により、メリノリブセーター、フリース、ヒートテック、ダウンジャケットなど冬のコア商品の店頭在庫を増やしたことで、分かりやすく買いやすい売り場を実現できていることが貢献していると考えています。

また、売れ行きに応じた増産を実施した結果、コア商品の在庫を潤沢に持って販売を続けられたことも要因です。

三つ目の増収の背景は、キャンペーンによる集客効果です。

この第1四半期では、スリムボトムス、メリノ、フリース、ヒートテック、プレミアムダウンと、期間をあけることなく、次々とキャンペーンを実施したことが、集客に寄与したものと考えています。

1Q 売上高総利益率 49.6% (前年同期比 +1.5p)

○ 値引販売のコントロール強化の継続

—店舗の意見を反映させた生産数量、値引・限定販売の  
コントロール強化を継続

○ 秋物・冬物シーズン早めの立ち上げに成功

—売上好調により夏物・秋物の在庫処分減少

9

国内ユニクロ事業の第1四半期の売上高総利益率は49.6%と前年同期比で1.5ポイント上昇いたしました。

これは、前期から継続して取り組んでいる店舗の意見を反映させた生産数量や値引・限定販売のコントロール強化が要因です。

また、秋シーズン、冬シーズンともに早めの立ち上げに成功していることも、粗利率の改善に寄与しているものと考えております。

売上が好調に推移したことにより、夏物や秋物の在庫処분이少なく済んだことが改善に貢献しております。

1Q 売上高販管費率 24.5% (前年同期比 ▲3.4p)

- 人件費率 ▲1.7ポイント  
売上好調と店舗作業効率改善により大幅改善  
持株会社(FR)への業務移管に伴う影響▲0.2ポイント(委託費に含む)
- 広告宣伝費率 ▲0.3ポイント  
売上が計画を上回ったため効率改善
- 賃借料率 ▲0.8ポイント  
売上好調により効率大幅改善

10

国内ユニクロ事業の販管費は増収に伴い、前年同期比で25億円増加していますが、売上高販管費比率では3.4ポイント改善しています。

まず売上高人件費比率は、売上好調および店舗での作業効率改善により前年に比べて1.7ポイント改善しております。

ただし、持株会社への業務移管に伴う影響で、人件費比率が0.2ポイント減少しております。こちらの費用は、委託費に含まれております。

広告宣伝費比率も0.3ポイント改善しております。

これも、売上高が計画を上回った影響で効率が改善したものです。

賃借料率も0.8ポイント改善しております。

店舗数の6割を占めるロードサイド店の大半は固定家賃であるため、既存店売上が好調であったことにより効率が改善しております。

### 計画通りに進捗、1Qの黒字幅拡大

- アジア 順調に拡大(店舗数 08/8末 39店舗 ⇒ 08/11末 48店舗)
  - 中国・香港 業績は順調に推移
  - 韓国 売上は順調だがウォン安の影響により利益率は低下傾向
- 欧米 英国の赤字幅縮小(店舗数 08/8末 15店舗 ⇒ 08/11末 16店舗)
  - 米国 順調な売上続く
  - 英国 既存店売上高は増収、赤字幅は縮小
  - フランス ラ・デファンス店の売上好調

単位：億円

		2008年8月期	2009年8月期 第1四半期	
		第1四半期実績	実績	前年同期比
海外ユニクロ事業	売上高	70	90	+27.6%
	営業損益	2	7	+232.1%
	(売上比)	3.0%	7.9%	+4.9p

11

次に海外ユニクロ事業ですが、売上高は90億円と前年同期に比べ27.6%増、営業利益は7億円と前年に比べて5億円改善し、ほぼ計画通りとなりました。

中国・香港の業績は引き続き順調に推移しております。

韓国の業績については売上は順調だったものの、ウォン安の影響を受け、利益率は低下傾向にあります。

米国につきましては順調な売上が続いております。

英国では既存店売上高は増収となり、赤字幅は縮小しております。

フランスにつきましては2007年12月にオープンしたラ・デファンス店の売上は好調に推移しております。

## 【国内関連事業】第1四半期実績

ほぼ計画通りの進捗で、1Qは黒字

- キャビン 既存店売上高が前年割れで若干の計画未達
- GOVリテイリング 経営改革を推進、1Qでは黒字達成
  - ジーユー 既存店売上高 二桁増収、採算も改善
  - フットパーク 採算は前年に比べ改善
  - ビュー 売上未達が続く

		単位: 億円		
		2008年8月期	2009年8月期	第1四半期
		第1四半期実績	実績	前年同期比
国内関連事業	売上高	116	136	+16.9%
	営業損益	▲2	2	-
	(売上比)	-	2.2%	

12

次に国内関連事業ですが、売上高は136億円と前年同期比で16.9%増、営業利益は2億円と、前年同期に比べて4億円改善しております。

キャビンは若干の計画未達となっておりますが、GOVリテイリングの業績が順調に推移していることから、国内関連事業全体ではほぼ計画通りの進捗となっており、第1四半期では黒字を達成することができました。

キャビンは、主カブランドであるザジ、アンラシーネの売上高は順調に推移いたしましたが、全体の既存店売上高は前年割れ、若干の計画未達となっております。

9月1日にジーユー、ワンゾーン、ビューカンパニーを統合したGOVリテイリングは、引き続き経営改革を推進し、第1四半期では黒字を計上しております。

ジーユー事業の既存店売上高は二桁増収と売上高は好調で、採算も改善しています。

フットパーク事業の採算も前年に比べて改善しています。

ビュー事業は引き続き売上未達が続いています。

GOVリテイリングの現状については、次の頁でご説明いたします。

### ○ ジュー事業

#### 既存店売上高 二桁増収の要因

- ・消費者の節約志向が追い風
- ・商品企画力の向上
- ・販促強化(チラシなど)により認知度アップ



カシミアタッチニットケープ

### ○ フットパーク事業

#### 採算改善の要因

- ・3社統合による本部費削減効果
- ・在庫処分の一巡と、粗利益率が高い自社企画商品構成比のアップ

### ○ ビュー事業

- ・第1四半期では売上未達
- ・商品計画・在庫のコントロールの強化により売上の回復を目指す

13

まずジュー事業ですが、消費者の節約志向が追い風となりこの春以降の既存店売上高は二桁増収が続いています。

増収が続いている背景としてこのほかに、商品企画力が向上していること、チラシなどの販促活動を強化することにより、ジューの店舗・ブランドの認知度がアップしていることなどがあげられます。低価格アパレル市場の拡大の可能性は十分にあると考えているため、今後も価格訴求を一層強めたジュー独自商品の開発により、業績の拡大を目指してまいります。

例えばこちらの写真のカシミアタッチニットケープは、1290円とバリュー感もあり、デザイン性も優れた商品として、販売が好調でした。

フットパーク事業では採算改善が進んでいます。

この理由としては、3社統合による本部費削減効果が出たこと、また在庫の処分が一巡したこと、粗利益率の高い自社企画商品の構成比がアップしていることによります。

今後は、第2、第3のユニクロとして、新しい靴ビジネスの構築に向けて収益性を高めていきたいと考えています。

ビュー事業は、第1四半期で売上未達となっておりますが、商品計画や在庫のコントロールを強化することで販売機会ロスを減らし、売上の回復につなげたいと考えています。

## 欧州での景気減速、ユーロ安により減収減益

### ○ コントワー・デ・コトニエ事業

欧州での景気減速の影響を受け、売上計画未達

### ○ プリンセス タム・タム事業

売上、利益ともにほぼ計画通り

2008年第1四半期実績は5ヶ月間(7月～11月)の業績を連結

単位: 億円

		2008年8月期	2009年8月期	第1四半期
		第1四半期実績	実績	前年同期比
グローバルブランド事業	売上高	122	79	▲35.5%
	営業損益	24	10	▲59.4%
	(売上比)	20.3%	12.8%	▲7.5p

※ 持分法適用関連会社であるリンク・セオリー・ホールディングスについては、営業外損益として、「持分法による投資損益(08/9～08/11)」7百万円を計上しています。

※ プリンセス タム・タム事業の2008年8月期第1四半期の実績には、決算期変更により、2007年7～8月の売上高約27億円、営業利益約6億円が含まれています。

グローバルブランド事業の第1四半期の業績は、欧州での景気減速により売上高は79億円、前年同期比35.5%減、営業利益は10億円、前年同期比59.4%減で減収減益となり、計画に対しても下回る結果となりました。

コントワー・デ・コトニエ事業は、欧州の景気減速の影響を受けて、売上は計画未達となっており、ユーロベースでは増収減益でした。

プリンセス タム・タム事業は、売上は計画を下回りましたが、経費削減の効果もあり、利益はほぼ計画通りです。ユーロベースでは**横ばい**減益となりました。

なお、2008年8月期の第1四半期の売上高122億円、営業利益24億円には、プリンセス タム・タム事業の決算期変更による、2007年7～8月の売上高約27億円、営業利益約6億円が含まれております。

この金額を除くと、2008年8月期の第1四半期は、売上高95億円、営業利益18億円となり、2009年8月期の第1四半期は円ベースで約2割の減収、約5割の減益となります。

また、第1四半期の為替レートは、約2割の円高となっております。

この為替変動の影響を除くと、グローバルブランド事業の売上高はほぼ横ばい、約3割の減益となります。

なお持分法適用関連会社であるリンク・セオリー・ホールディングスについては、持分法投資利益を営業外利益として7百万円計上しております。

## 【連結】2008年11月末 B/S

単位：億円

	2008年8月末	2008年11月末	増 減
総資産	4,047	4,600	+553
流動資産	2,636	3,232	+595
固定資産	1,410	1,367	▲42
負債	1,407	2,264	+857
純資産	2,640	2,335	▲304

15

次に2008年11月末の連結バランスシートのご説明をさせていただきます。

2008年8月末との比較では、  
流動資産が595億円増加し、固定資産が42億円減少した結果、  
全体の総資産は553億円増加して4,600億円となりました。

詳細については、次の頁でご説明いたします。

**現金・預金及び有価証券の増加 +58億円（1,701億円 ⇒ 1,759億円）**

- －【国内ユニクロ事業】 営業キャッシュフローの増加 +245億円
- －【FR】 期末配当金の支払ほか ▲149億円

**たな卸資産の増加 +65億円（537億円 ⇒ 603億円）**

- 【国内ユニクロ事業】 11月末残高 434億（08/8月末比） +72億円  
（前年同期比） ▲35億円 売上好調による在庫減

**有形固定資産の減少 ▲8億円（403億円 ⇒ 394億円）**

- －【国内ユニクロ事業】 +10億円 【海外ユニクロ事業】 ▲11億円

**為替予約勘定（資産）の減少 ▲687億円（資産66億円⇒負債621億円）**

- 【国内ユニクロ事業】 円高の進行に伴うもの。損益への影響は無し

まず、流動資産ですが、現預金及び有価証券の合計額は1,759億円と、前期末比で58億円増加いたしました。これは、国内ユニクロ事業の営業キャッシュフローの増加が245億円、ファーストリテイリングで期末配当金の支払いによるキャッシュアウトなど149億円があったことによるものです。

たな卸資産は603億円と、前期末比では65億円増加しております。

国内ユニクロ事業の11月末の在庫は434億円と2008年8月末比では72億円増加しておりますが、前年同期末比では、この第1四半期の売上が好調だったことから在庫が大幅に減少し、35億円の減となりました。

有形固定資産は、前期末比で8億円減少しております。

国内ユニクロ事業の出店に伴い10億円増加しましたが、為替レートの影響により、海外ユニクロ事業で11億円減少していることなどによるものです。

為替予約勘定が前期末比687億円減少しておりますが、これは円高の進行に伴うもので、ヘッジ会計を適用していることから損益への影響はございません。

## 売上高、利益ともに増額修正

単位: 億円

	2008年8月期 通期実績	2009年8月期		2009年8月期		
		期初予想 (10/9時点)	前期比	修正予想 (1/9時点)	前期比	期初予想比
売上高 (売上比)	5,864 100.0%	6,200 100.0%	+5.7%	6,270 100.0%	+6.9%	+1.1%
売上総利益 (売上比)	2,936 50.1%	3,100 50.0%	+5.6% ▲0.1p	3,130 49.9%	+6.6% ▲0.2p	+1.0% ▲0.1p
販管費 (売上比)	2,061 35.2%	2,170 35.0%	+5.2% ▲0.2p	2,140 34.1%	+3.8% ▲1.1p	▲1.4% ▲0.9p
営業利益 (売上比)	874 14.9%	930 15.0%	+6.3% +0.1p	990 15.8%	+13.2% +0.9p	+6.5% +0.8p
経常利益 (売上比)	856 14.6%	930 15.0%	+8.5% +0.4p	950 15.2%	+10.9% +0.6p	+2.2% +0.2p
当期純利益 (売上比)	435 7.4%	480 7.7%	+10.3% +0.3p	500 8.0%	+14.9% +0.6p	+4.2% +0.3p

2009年8月期予想: 設備投資額 180億円、減価償却費 100億円

2008年8月期実績: 設備投資額 210億円、減価償却費 85億円

17

ここからは、2009年8月期の業績予想についてご説明します。

連結の通期売上高は、期初予想の6,200億円から6,270億円へ、  
営業利益は930億円から990億円へと修正いたします。

なお、第1四半期において為替差損が40億円発生していることから、経常利益  
は930億円から950億円へと修正いたします。

## 売上高200億円、営業利益100億円増額修正

単位：億円

	2008年8月期	2009年8月期		2009年8月期		
	通期実績	期初予想 (10/9時点)	前期比	修正予想 (1/9時点)	前期比	期初予想比
<b>売上高</b> (売上比)	4,623 100.0%	<b>4,820</b> 100.0%	+4.3%	<b>5,020</b> 100.0%	+8.6%	+4.1%
<b>売上総利益</b> (売上比)	2,241 48.5%	<b>2,314</b> 48.0%	+3.3% (▲0.5p)	<b>2,430</b> 48.4%	+8.4% (▲0.1p)	+5.0% (+0.4p)
<b>販管費</b> (売上比)	1,376 29.8%	<b>1,413</b> 29.3%	+2.6% (▲0.5p)	<b>1,430</b> 28.5%	+3.9% (▲1.3p)	+1.2% (▲0.8p)
<b>営業利益</b> (売上比)	864 18.7%	<b>900</b> 18.7%	+4.2% (+0.0p)	<b>1,000</b> 19.9%	+15.7% (+1.2p)	+11.1% (+1.2p)

18

国内ユニクロ事業の通期の業績予想は、第1四半期の上ぶれを反映し、売上高で200億円、営業利益で100億円を増額修正し、売上高5,020億円、営業利益1,000億円といたします。

## 【国内ユニクロ事業】業績予想の前提

	2008年8月期			2009年8月期			前期比		
	実績			修正予想(1/9時点)					
売上高	4,623 億円			5,020 億円			+8.6%		
既存店伸び率(通期)	+2.9%			+5.8%			-		
上期	+1.5%			+9.6%			-		
下期	+4.8%			+1.0%			-		
売上高総利益率(通期)	48.5%			48.4%			▲0.1p		
上期	47.6%			48.3%			+0.7p		
下期	49.5%			48.5%			▲1.0p		
売上高販管費率(通期)	29.8%			28.5%			▲1.3p		
上期	27.7%			25.9%			▲1.8p		
下期	31.9%			31.9%			0.0p		
出退店数(直営店)	出店	退店	純増	出店	退店	純増	出店	退店	純増
通期	56	46	+10	52	32	+20	▲4	▲14	+10
大型店	22	0	+22	24	0	+24	+2	0	+2
標準店等	32	46	▲14	28	32	▲4	▲4	▲14	+10
専門店	2	0	+2	0	0	0	▲2	0	▲2
上期	33	25	+8	23	16	+7	▲10	▲9	▲1
大型店	10	0	+10	11	0	+11	+1	0	1
標準店等	21	25	▲4	12	16	▲4	▲9	▲9	0
専門店	2	0	+2	0	0	0	▲2	0	▲2
下期	23	21	+2	29	16	+13	+6	▲5	+11
大型店	12	0	12	13	0	+13	+1	0	+1
標準店等	11	21	▲10	16	16	+0	+5	▲5	+10
専門店	0	0	0	0	0	0	0	+0	0

国内ユニクロ事業の業績予想の前提につきましては、第1四半期の実績を反映し、こちらの頁の数値に修正しております。

第1四半期実績を受け、上期の既存店売上高伸び率を期初予想の1.8%から9.6%に、売上高総利益率を期初予想の47.6%から48.3%に、売上高販管費比率を27.2%から25.9%にそれぞれ修正しております。

また、上期の出退店については期初計画に比べて標準店の出店が2店舗減り12店舗、閉店が3店舗減り16店舗と修正しております。

## 欧州景気後退と為替の影響により減額修正

- 売上高310億円、営業利益30億円の減額修正
- 欧州景気後退の影響による売上修正  
直営既存店売上高予想を修正（通年見通し、ユーロベース）
 

	期初予想	修正予想
コントワー・デ・コトニエ事業	▲ 5%	⇒ ▲ 13%
プリンセス タム・タム事業	▲ 5%	⇒ ▲ 13%
- 為替による影響で約2割減
 

期初予算レート	160.00円
1Q実績レート	132.68円
修正予想レート	125.00円

20

次に、グローバルブランド事業の通期業績予想は、欧州の景気後退の影響を受け、コントワー・デ・コトニエ事業、プリンセス タム・タム事業ともに売上不振となる見込みであること、並びに為替レートが当初見込んでいた水準よりも円高に推移していることから、売上高310億円、営業利益30億円の減額修正いたします。

コントワー・デ・コトニエ事業につきましては、期初で直営既存店売上高を5%の減収と予想しておりましたが、足元の販売状況をふまえ、通期で13%の減収に修正しております。

プリンセス タム・タム事業も同様に、期初予想で5%の直営店売上高の減収を予想しておりましたが、通期で13%の減収となるものと見込んでおります。

また、期初予想ではユーロの換算レートを160円と見込んでおりましたが、足元の円高傾向を踏まえ、約2割程度の円高水準である125円に予想を修正いたします。

国内ユニクロ事業 : 増額修正  
 海外ユニクロ事業 : 変更なし  
 国内関連事業 : 変更なし  
 グローバルブランド事業 : 減額修正

単位: 億円

		2008年8月期		2009年8月期		2009年8月期	
		通期実績	期初予想 (10/9時点)	前期比	修正予想 (1/9時点)	前期比	期初予想比
国内ユニクロ事業	売上高	4,623	4,820	+4.3%	5,020	+8.6%	+4.1%
	営業損益 (売上比)	864 18.7%	900 18.7%	+4.2% +0.0p	1,000 19.9%	+15.7% +1.2p	+11.1% +1.2p
海外ユニクロ事業	売上高	293	410	+39.7%	410	+39.7%	0.0%
	営業損益 (売上比)	3 1.2%	10 2.4%	+177.8% +1.2p	10 2.4%	+177.8% +1.2p	0.0% 0.0p
国内関連事業	売上高	494	500	+1.0%	500	+1.0%	0.0%
	営業損益 (売上比)	▲28 -	▲10 -	- -	▲10 -	- -	0.0% -
グローバルブランド事業	売上高	437	440	+0.6%	310	▲29.1%	▲29.5%
	営業損益 (売上比)	77 17.7%	70 15.9%	▲9.8% ▲1.8p	30 9.7%	▲61.3% ▲8.0p	▲57.1% ▲6.2p

2009年8月期予想: のれん償却額 47億円

2008年8月期実績: のれん償却額 53億円

21

通期のグループ事業別業績予想はこの頁のとおりです。

海外ユニクロ事業、国内関連事業は期初予想から修正はございません。

## 【配当金】

2009年8月期 年間配当金 150円を予想

	2008年8月期(実績)		2009年8月期(予想)			
		中間	期末	中間	期末	
1株配当金	130円	65円	65円	150円	75円	75円

※ 業績や資金需要に大きな変動が生じた場合、配当金額を変更することがあります。

最後に、2009年8月期の一株当たり配当金は、中間配当で75円、年間では150円と、前期に比べ年間で20円の増配を予想しており、こちらは期初の予想から変更はございません。

また、ご参考として、

・出退店の一覧、

また、

・国内ユニクロ事業および連結の中間期の業績予想を添付いたしておりますのでご参照ください。

以上を持ちまして、私からのご説明とさせていただきます。

ありがとうございました。

## 連結対象会社別出退店 実績・予想

【単位:店舗】	08年8月 期末	2009年8月期(1/9時点 予想)							
		第1四半期 実績				通期 予想			
		出店	退店	純増減	期末	出店	退店	純増減	期末
<b>ユニクロ事業合計</b>	<b>813</b>	<b>33</b>	<b>15</b>	<b>+18</b>	<b>831</b>	<b>95</b>	<b>34</b>	<b>+61</b>	<b>874</b>
国内ユニクロ事業:	759	23	15	+8	767	54	33	+21	780
直営店	740	22	15	+7	747	52	32	+20	760
大型店	50	11	0	+11	61	24	0	+24	74
標準店等	678	11	15	▲4	674	28	32	▲4	674
専門店	12	0	0	0	12	0	0	0	12
FC	19	1	0	+1	20	2	1	+1	20
海外ユニクロ事業:	54	10	0	+10	64	41	1	+40	94
中国(除く香港)	13	2	0	2	15	19	0	+19	32
香港	8	2	0	2	10	4	0	+4	12
韓国	18	5	0	5	23	14	0	+14	32
シンガポール	0	0	0	0	0	2	0	+2	2
英国	13	1	0	+1	14	2	1	1	14
米国	1	0	0	0	1	0	0	0	1
フランス	1	0	0	0	1	0	0	0	1
<b>キャビン</b>	<b>193</b>	<b>19</b>	<b>10</b>	<b>+9</b>	<b>202</b>	<b>41</b>	<b>17</b>	<b>+24</b>	<b>217</b>
<b>GOVリテイリング</b>	<b>457</b>	<b>8</b>	<b>4</b>	<b>+4</b>	<b>461</b>	<b>14</b>	<b>74</b>	<b>▲60</b>	<b>397</b>
ジーユー事業	58	4	3	+1	59	9	7	+2	60
フットパーク事業	294	1	1	0	294	2	59	▲57	237
ビュー事業	105	3	0	+3	108	3	8	▲5	100
<b>コントワー・デ・コトニエ事業</b>	<b>348</b>	<b>13</b>	<b>0</b>	<b>+13</b>	<b>361</b>	<b>19</b>	<b>2</b>	<b>+17</b>	<b>365</b>
<b>プリンセス タム・タム事業</b>	<b>150</b>	<b>12</b>	<b>0</b>	<b>12</b>	<b>162</b>	<b>15</b>	<b>0</b>	<b>+15</b>	<b>165</b>
<b>総 合 計</b>	<b>1,961</b>	<b>85</b>	<b>29</b>	<b>56</b>	<b>2,017</b>	<b>184</b>	<b>127</b>	<b>+57</b>	<b>2,018</b>

単位：億円

	2008年8月期	2009年8月期中間		2009年8月期中間		
	中間実績	期初予想 (10/9時点)	前年同期比	修正予想 (1/9時点)	前年同期比	期初予想比
<b>売上高</b> (売上比)	2,532 100.0%	<b>2,650</b> 100.0%	+4.6%	<b>2,850</b> 100.0%	+12.5%	+7.5%
<b>売上総利益</b> (売上比)	1,206 47.6%	<b>1,261</b> 47.6%	+4.5% ▲0.1p	<b>1,377</b> 48.3%	+14.1% +0.7p	+9.2% +0.7p
<b>販管費</b> (売上比)	700 27.7%	<b>720</b> 27.2%	+2.7% ▲0.5p	<b>737</b> 25.9%	+5.1% ▲1.8p	+2.4% ▲1.3p
<b>営業利益</b> (売上比)	505 20.0%	<b>541</b> 20.4%	+7.0% +0.4p	<b>640</b> 22.5%	+26.6% +2.5p	+18.3% +2.0p

# 【連結】2009年8月期 中間業績予想

単位：億円

	2008年8月期 中間実績	2009年8月期 中間		2009年8月期 中間		
		期初予想 (10/9時点)	前年同期比	修正予想 (1/9時点)	前年同期比	期初予想比
売上高 (売上比)	3,164 100.0%	3,350 100.0%	+5.9%	3,490 100.0%	+10.3%	+4.2%
売上総利益 (売上比)	1,569 49.6%	1,660 49.6%	+5.8% (▲0.0p)	1,740 49.9%	+10.9% (+0.3p)	+4.8% (+0.3p)
販管費 (売上比)	1,026 32.4%	1,100 32.8%	+7.2% (+0.4p)	1,100 31.5%	+7.2% (▲0.9p)	+0.0% (▲1.3p)
営業利益 (売上比)	542 17.2%	560 16.7%	+3.2% (▲0.4p)	640 18.3%	+17.9% (+1.1p)	+14.3% (+1.6p)
経常利益 (売上比)	534 16.9%	560 16.7%	+4.8% (▲0.2p)	600 17.2%	+12.3% (+0.3p)	+7.1% (+0.5p)
当期利益 (売上比)	286 9.1%	320 9.6%	+11.7% (+0.5p)	350 10.0%	+22.2% (+0.9p)	+9.4% (+0.4p)